



2023年12月期 第1四半期
決算説明資料

株式会社sMedio

(東証グロース : 3913)

2023年5月15日

本資料の複写、転用はしないで下さい

- 連結業績概要 ④
- 連結決算概要(PL) ⑤
- 連結決算概要(BS) ⑥
- 収入形態別連結売上推移 ⑦
- 連結営業利益・連結経常利益推移 ⑧

2023年12月期
第1四半期
決算概要

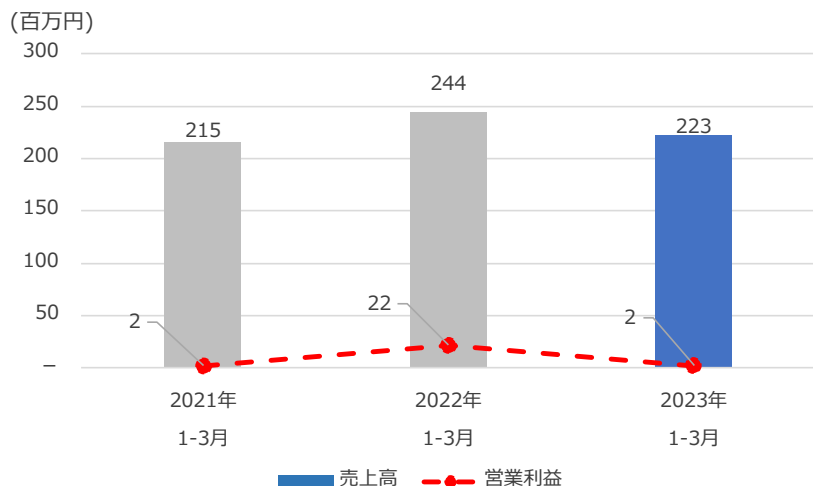
■ 売上高は、223百万円（前年同期は244百万円）

⇒主な減収要因は、受託開発収入が前年同期比で20百万円減少しました。

■ 営業利益は、2百万円（前年同期は22百万円の黒字）

⇒主な減益要因は、売上高減少による売上総利益の減少▲6百万円と販管費の増加による影響▲13百万円となります。

■ 最終利益は、▲1百万円（前年同期は18百万円の黒字）



期初計画からの進捗状況

単位:百万円

	2023年1Q			予算進捗率	
	予算	実績	差異	年間予算	進捗率
	A	B	B-A	C	B/C
売上高	222	223	1	845	26.4%
営業利益	▲9	2	12	25	9.4%
当期純利益	▲11	▲1	10	10	n/a

連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2021年 1-3月	2022年 1-3月	2023年 1-3月	前年同期比	
売上高	215	244	223	▲20	▲8.5%
売上原価	107	120	106	▲14	▲11.7%
売上総利益	108	123	116	▲6	▲5.3%
販管費	106	101	114	13	13.1%
営業利益	2	22	2	▲19	▲89.3%
営業外収益	2	5	1	▲3	▲69.0%
営業外費用	0	-	-	-	n/a
経常利益	4	27	4	▲23	▲85.4%
特別利益	-	-	-	-	n/a
特別損失	-	-	0	0	n/a
税金等調整前当期純利益	4	27	3	▲23	▲86.0%
法人税等	8	9	5	▲3	▲42.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲3	18	▲1	▲19	n/a
売上原価率	49.8%	49.5%	47.8%	▲1.8p	n/a
営業利益率	1.1%	9.1%	1.1%	▲8.0p	n/a

- 売上高：受託開発収入が前年同期比で20百万円減少し、売上高は223百万円となりました。
- 営業利益：売上高の減少に加え、販管費が増加(人員補充に伴う給与手当や採用費の増加)したことで営業利益は2百万円となりました。

連結決算概要 (BS)

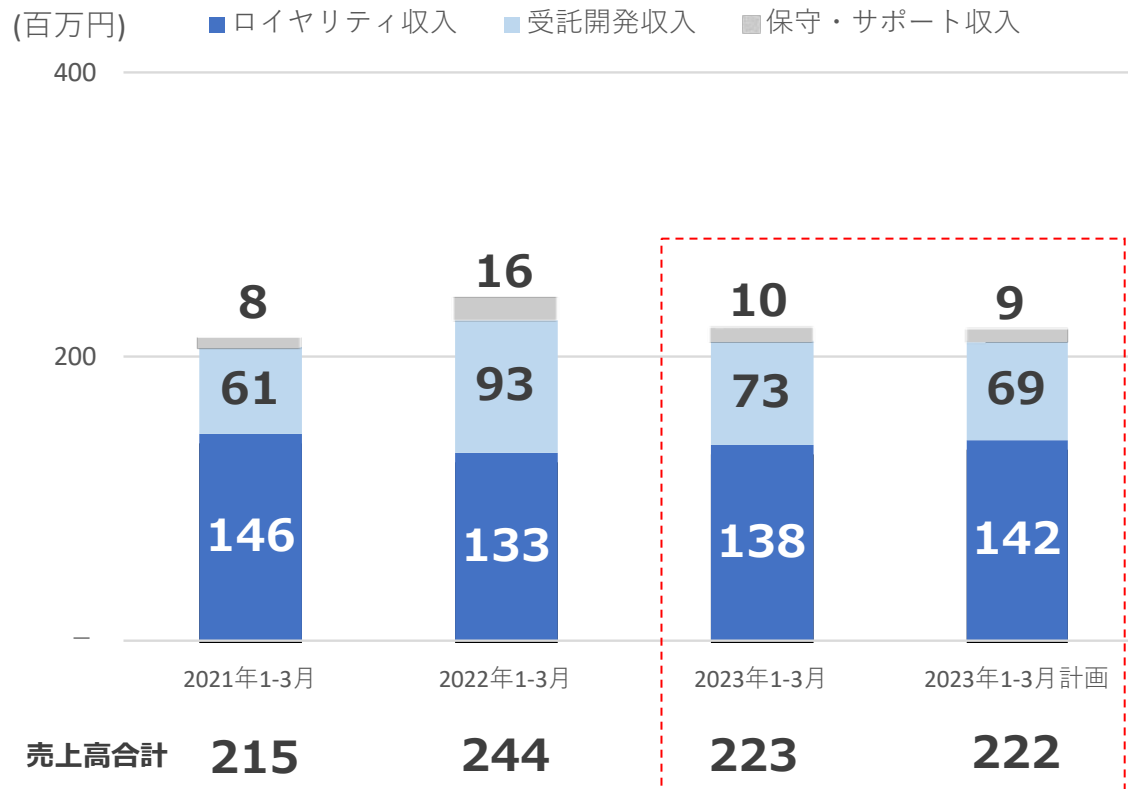
単位：百万円

資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 3月	前期末比
現金及び預金	570	889	892	2
売掛金	45	181	185	3
仕掛品	30	12	10	▲2
原材料及び貯蔵品	520	235	221	▲14
その他	21	26	19	▲6
流動資産合計	1,189	1,346	1,329	▲17
有形固定資産	15	14	14	▲0
ソフトウェア	5	3	3	▲0
のれん	1	-	-	-
その他	1	1	1	▲0
無形固定資産合計	8	4	4	▲0
投資その他資産	36	28	28	0
固定資産合計	60	48	47	▲0
資産合計	1,250	1,394	1,376	▲17

負債・純資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 3月	前期末比
買掛金	12	20	19	▲0
未払法人税等	3	14	6	▲7
賞与引当金	2	2	8	6
工事損失引当金	1	-	1	1
その他	88	122	108	▲13
流動負債合計	106	159	145	▲13
固定負債合計	9	13	11	▲2
負債合計	116	173	157	▲16
資本金・資本剰余金	1,165	1,347	1,347	-
利益剰余金	145	23	22	▲1
自己株式	▲194	▲176	▲176	-
その他	16	25	25	▲0
純資産合計	1,133	1,221	1,219	▲1
負債・純資産合計	1,250	1,394	1,376	▲17

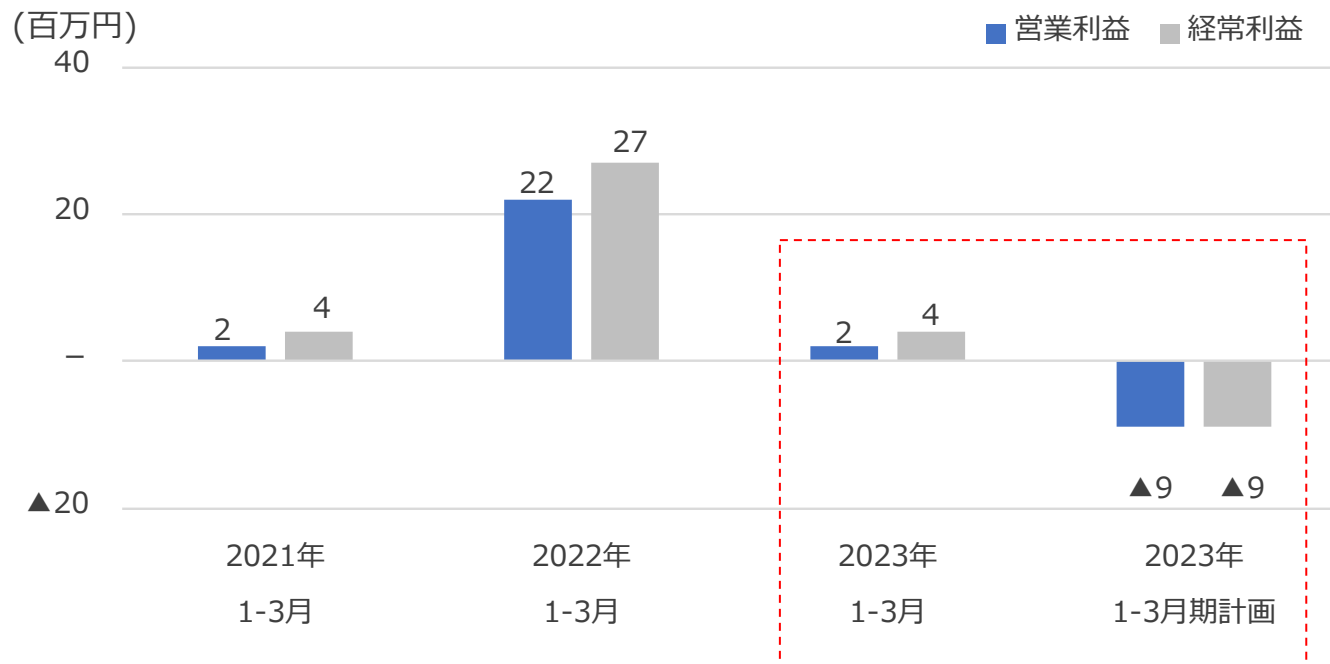
- 資産：原材料及び貯蔵品は使用に応じて14百万円減少しています。
- 負債：その他の流動負債の減少は、主に未払消費税の減少によるものです。
- 純資産：自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は80%超であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。

収入形態別連結売上高推移



- ロイヤリティ収入：前年同期比では当社ソフトウェアが搭載されている顧客の製品種類が増えたことにより増収となりましたが、計画比では出荷数が計画を下回った顧客製品があり減収となりました。
- 開発収入：前年同期比では前期に大型案件があった反動で当期は減収となりましたが、計画比では当初の想定より案件数が増加したため増収となりました。

連結営業利益・連結経常利益推移



■ 営業利益・経常利益

前年同期比では減益幅が大きくなりましたが、計画比では計画を上回りました。

- 本資料は、2023年5月15日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。

